

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県四街道市

3 地域再生計画の区域

千葉県四街道市の全域

4 地域再生計画の目標

国勢調査における本市の人口推移をみると、増加傾向を維持しており、令和2年に人口93,576人となり、平成2年の72,157人から、30年間で約30%（21,419人）増加しています。住民基本台帳によると、令和7年1月1日現在、96,424人となっています。

年齢3階層別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、平成2年の13,192人から平成7年の11,792人に減少して以降概ね横ばいとなっていました。令和2年には12,477人と増加しました。また、生産年齢人口（15～64歳）は、平成12年の60,487人をピークに減少傾向で推移し、平成27年には51,765人となりましたが、令和2年には53,027人と増加に転じています。一方、老年人口（65歳以上）は、平成2年の5,627人から一貫して増加傾向となっており、令和2年には27,066人となっています。

自然動態をみると、出生数は、近年700人前後で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年以降は減少し、令和5年は645人となっています。一方、死亡数は、長期的に増加傾向となっていますが、コロナ禍にあった令和2年から4年までは特に増加幅が大きく、令和5年は1,048人となっています。

社会動態をみると、転入者数は、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年以降も4,000人台を維持しており、令和5年は4,225人となっています。また、転出者数は、令和2年以降3,000人台半ばで推移しており、令和5年は3,569人と

なっています。

本市の将来人口シミュレーションによると、合計特殊出生率が現状値（1.35）のまま推移した場合は、令和52年（2070年）に総人口が8万人を切り、高齢化率は約36%まで上昇するほか、年少人口は令和2年の約2/3にまで減少することが予測されています。

人口減少が及ぼす影響としては、あらゆる産業分野の担い手不足や、消費者の減少による地域経済の衰退・縮小、地域活力の低下、日常における利便性の低下が懸念されます。また、市税収入の減少や、さらなる高齢化の進行による社会保障関係経費の増大などが、本市の財政構造に硬直化を招き、都市基盤整備や公共施設の更新などが困難となることも懸念されます。さらに、高齢化が進行し、世代交代がうまく進まない地域では、地域コミュニティの維持が困難となり、防災や防犯面など住環境の悪化が懸念されます。

このため、中長期的な期間が必要となる自然動態の改善に向けて、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現に向けて支援するとともに、社会動態に関し、これからは市内外から選ばれ続けるために、たくさんの魅力であふれ、だれもが住み良い四街道を創っていくことが重要です。

そこで、未来に向けた持続可能なまちづくりを進める四街道市総合計画第1期基本計画 HAPPY SMILE PLAN と一体となって、地方創生の深化・加速化を図り、四街道市の将来的な人口減少の抑制、そしていつまでもみんなの笑顔があふれるまちづくりを進めていくものとし、次の通り基本目標を設定します。

- ・基本目標 未来を応援する道
- ・基本目標 ふるさとを誇れる道
- ・基本目標 こどもがまんなかの道
- ・基本目標 人によりそうやさしい道

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
---------------------	-------	-----------------	-----------------	-----------------------------

	地域に応援されていると感じる人の割合	調査未実施のため現状値なし	50.0%	未来を応援する道
	夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学生81.4% 中学生66.8%	小学生81.4% 以上 中学生66.8% 以上	
	未来応援サポート事業者数	新規事業のため現状値なし	25事業者	
	四街道を好きと感じる人の割合	74.7%	76.0%	ふるさとを誇れる道
	四街道市をふるさとであると感じる児童生徒の割合	小学生72.3% 中学生64.1%	小学生79.2% 中学生74.5%	
	観光入込客数	140,256人	117,408人	
	子育てしやすいと感じる人の割合	80.1%	84.1%	こどもが まんなかの道
	合計特殊出生率	1.35	1.58	
	予定している子どもの人数(子育て世帯)	2.08人	2.08人以上	
	住み良いと感じる人の割合	79.0%	82.0%	人によりそう やさしい道
	毎日を健やかに充実して暮らせていると感じる市民の割合	80.5%	81.0%	
	現在お住まいの地域との関わりについて、満足している市民の割合	67.1%	72.0%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

① 事業の名称

四街道市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 夢や希望を応援する事業
- イ 活躍できる環境を整える事業
- ウ ふるさとへの愛着につながる事業
- エ まちに賑わいがあふれる事業
- オ 子育てをみんなで支える事業
- カ 子どもが健やかに成長できる事業
- キ 安全安心で快適に過ごせる事業
- ク 自分らしく暮らしていける事業

② 事業の内容

- ア 夢の実現に向けて努力し、未来を切り拓くために挑戦する人を支える取組を推進します。

デジタル技術の活用も図りながら、若者の結婚の希望をかなえるための支援や、四街道市で新たに生活を始めるための支援に取り組みます。

子育て世代を中心とした若い世代の転入・定住を促進する取組や、安心して、妊娠・出産・子育てができる地域社会の実現を目指します。

【具体的な事業】

- 夢応援事業
- ふるさとの味お届け便支援事業
- 消防オープンイノベーション事業
- 中学生が描く未来事業
- キャリア教育推進事業
- YOTSU♥️LOVE 事業

- 結婚新生活応援事業
- 母子保健事業
- 三世代同居・近居支援事業 等

イ ゼロカーボンや環境保全・環境美化、循環型社会の推進などに取り組み、地球にやさしい地域社会の構築を進めます。

みんなで創るまちづくりを推進するため、さまざまな主体と市が協力したみんなで地域づくりの推進や、コミュニティ活動基盤の整備などに取り組みます。

四街道市の持続的な発展のため、道路整備をはじめ、交流の拠点となる施設の魅力や利便性向上などを図るほか、計画的・効率的な行政運営や健全な財政運営にデジタル技術の活用も図りながら取り組みます。

【具体的な事業】

- 環境アクションポイント事業
- ごみ減量化・リサイクル推進事業
- みんなで地域づくりセンター運営事業
- コラボ四街道事業
- 都市計画道路整備事業
- 図書館魅力創造プロジェクト事業
- 自治体D X推進事業
- ファシリティマネジメント推進事業 等

ウ 人・自然・歴史といった地域資源を活用した魅力の創出や魅力の発信など、地域の魅力を磨き上げPRする取組をデジタル技術の活用も図りながら推進します。

四街道への愛着の醸成に向け、子どもも大人も楽しめる体験イベントの充実をはじめ、市民が四街道に愛着をもつきっかけとなる、新たな地域資源の創出に取り組みます。

里山・谷津田などの豊かな自然の保全や、自然に親しむことができる機会の提供等を図ります。

【具体的な事業】

- シティプロモーション推進事業
- まち撮り四街道事業
- 夢応援事業
- 親子深まる絆事業
- 笑顔の灯り事業
- モニュメント新設事業
- シンボルツリーde 銘板制作事業
- 自然環境対策事業
- 緑化推進事業 等

エ 芸術・文化やスポーツの振興を推進するほか、近隣自治体や事業者との連携による観光振興や、地域資源を活用した取組による交流人口の増加を図ります。

多様な主体と連携を図りながら、幅広い世代が永く親しんできたイベントのさらなる磨き上げに取り組みます。

地理的優位性を活かした地域経済の活性化を推進するため、商工業や農林業の振興に取り組みます。

【具体的な事業】

- 文化財保護管理事業
- ランニングイベント事業
- 観光支援事業
- ふるさと応援推進事業
- 産業まつり実施事業
- ふるさとまつり事業
- 農商工等連携推進事業
- 中心市街地等活性化事業 等

オ 子育て支援の推進や、安心して子育てできる環境の整備に取り組み、子育てをみんなで応援します。

子どもの居場所づくりやさまざまな交流の創出をはじめ、子育て世帯

の経済的負担の軽減に向けた支援や、子どもの保健対策の充実を図ります。

ライフステージに応じた多様な働き方を選択できるよう、企業立地の促進など雇用の創出につながる取組を推進します。

【具体的な事業】

- 子ども家庭総合支援事業
- 保育所等整備事業
- 都市公園・緑地維持管理事業
- 子どもの居場所づくり支援事業
- 子ども医療対策事業
- 母子保健事業
- 子育て世帯訪問支援事業
- ひとり親家庭等支援事業
- 企業立地促進事業 等

カ 学校教育の充実や学校教育環境の整備を進めるなど、一人ひとりの個性を活かして学校教育を推進します。

子どもの健全な成長を支えるため、家庭・地域・学校との連携や青少年健全育成の推進、親子体験イベントの充実などに取り組みます。

防犯対策や交通安全対策など、子どもが地域で安心して成長することができる環境の整備に取り組みます。

【具体的な事業】

- 外国語教育推進事業
- 教育相談体制支援事業
- コミュニティ・スクール推進事業
- 青少年育成支援事業
- 親子深まる絆事業
- 防犯対策事業
- 交通安全対策事業
- 交通安全施設保守・整備事業 等

キ 防災対策の推進や地域防災力の向上、防災拠点の整備を推進し、防災対応力の向上を図ります。

安全・安心な暮らしを守るため、消防・救急の充実や生活安全対策を推進するほか、災害に強い都市基盤を整備するため、都市基盤の強化や排水対策に取り組みます。

住み良さを実感できる環境を整備するため、住環境や公園・緑、市街地の整備を推進するとともに、安心して利用できる道路交通基盤を整備するため、道路網の整備や公共交通サービスの充実を図ります。

【具体的な事業】

- 自主防災組織育成事業
- 指定避難所備蓄物資購入等補助事業
- 火災予防事業
- 交通安全施設保守・整備事業
- 都市公園・緑地維持管理事業
- グリーンスローモビリティ推進事業
- 交通計画推進事業
- 自転車ネットワーク計画事業 等

ク ダイバーシティの推進をはじめ、みんなで支え合う福祉環境を整備するため、高齢者福祉や障がい者福祉、地域福祉の充実を図ります。

いつまでも健やかに暮らすための環境を構築するため、健康づくりの推進や地域保健医療の充実を図ります。

生きがいづくりの環境を整備するため、人生100年時代を見据えて生涯学習の推進に取り組むとともに、みんながデジタルの恩恵を受けられる社会に向け、デジタルデバイドの解消などに取り組みます。

【具体的な事業】

- 地域包括支援センター運営事業
- 基幹相談支援センター運営事業
- 子どもの学習・生活支援事業

- 多文化共生推進事業
- 検診事業
- 健康よっかいどう 21 プラン推進事業
- 一般介護予防事業
- 生涯学習推進事業
- 自治体D X推進事業 等

※なお、詳細は第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

160,000千円（2025年度～2028年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度11月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに四街道市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2029年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2025年4月1日から2029年3月31日まで